

## 天沼裕子氏からのメッセージ

本日出演を予定しております天沼裕子（トイツチヨウ）ですが、政府からの帰国者に対する14日間待機の要請が継続しており、14日間をもちょうも帰国がどうしても難しく、誠に残念ながら出演が叶わなくなりました。誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 共演者プロフィール



### ピアノ 戸部 生恵 *Ueno Hironobu*

洗足学園音楽大学ピアノ科卒業。ツイエーグラー音楽法研鑽。1973年～1995年太平洋放送協会(PBA)で「ピアノチャリティ」のニックネームでハンソングリティアを始めた。藤井孝博子(ソプラノ)、メトロポリタノ・リタ・オネッパ、ナショナル・カウショル、オーディション第2位)、山岸重宣(チェロ)、元イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、工藤千(ヴァイオリン)、元韓国国立交響楽団首席、新井昭次(オーボエ)、元日本エーモニー交響楽団首席)、松尾圭介(オーボエ)、原三郎(交響楽団首席)、黒谷清子(ハーブ)、元日本エーモニー交響楽団首席)、小川佳津子(マリンバ)、武蔵野音楽大学、洗足学園音楽大学専攻講師)ほか、多くの演奏家の伴奏を担う。



### ピアノ 山田 武彦 *Yamada Takahiko*

東京藝術大学作曲科卒業。向大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ科入学。同クラスの7種類の卒業公開試験を、検定目的の満点で一致により首席で一等賞(アルミニエ、ブリー)を得て卒業。帰国後はピアノリストとして数多くの演奏者と共演。的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の原稿のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。2007年より「下丸子ワゴラジックカフェ」マスター役を担当するなど、ユニークなコンサートの企画にも参加している。これまで洗足学園音楽大学に於いて作曲及びピアノコース統括責任者を歴任、現在同大学教授。



### ピアノ 椎野 伸一 *Shino Shinichi*

13歳より約30年間在任。県立川越高校を経て東京芸術大学同大学院修了。「匠(匠)」受賞。谷 勝子、V.メルツァンクスキーに師事。デビューコンサート後、東京交響楽団、東京シティ・フィル等とベートーヴェンの「ピアノ協奏曲第1、3、4、5番」等を協演。1996年「グラツァンゴバ」秘蔵。肥後井ホールで定期的にソロ及びデュオリサイタルを開催。2013年よりソロCDアルバム「Images de Paris 1. II. III」をリリース。新聞、各音楽誌等で絶賛され高い評価を受ける。室内楽奏者として内外の著名な演奏家とキャリアを積み、CD録音、音楽祭への参加、放送出演など活動が多数。東京芸術大学教授。

## <オーブニング> 埼玉県立浦和第一女子高等学校音楽部

今年度第76年目を迎える。同校の中でも歴史と伝統を誇る部活動。これまでの総出演数は3,300人を超える。埼玉県合唱コンクールに62回連続出場。全日本合唱コンクールに全国最多となる41回の出場を果たす。

- ・ 曲目
- ・ オリンピックメドレー
- ・ La Fede
- ・ 夢の手
- ・ 揺蕩色の地球

## 下総皖一音楽賞

景では「作曲家」「音楽理論家」「音楽教育家」として日本近代音楽の基礎を作ったといわれる加須市出身の稀人、下総皖一の精神を受け継ぎ、県にゆかりのある音楽家の方を表彰しています。

この音楽賞には、国内外で幅広く活躍され、今後さらなる活躍が期待できる方を対象とする音楽文化発信部門と、長年にわたり本県の音楽文化の向上に貢献されている方を対象とする音楽文化貢献部門があります。



下総皖一氏

## 新型コロナウイルス感染予防のお願い

- ・ ホールやホワイエ、お手洗い(以下、「会場内」とします。)では、身体的距離を確保してください。
- ・ 会場内では必ずマスクを着用し、大声での会話はお控えください。
- ・ こまめに手洗い、手指の消毒に御協力ください。
- ・ 本公演は全席指定です。お客様同士でのお席の交換はお控えください。
- ・ 出演者との面会は御遠慮ください。プレゼントや花束のお預かりもいたしかねます。
- ・ 終演後の「プラボ」等のお声がけはお控えください。
- ・ 感染拡大防止のため、拍手でお気持ちをお寄せいただければ幸いです。
- ・ 終演後は、混雑を避けるためお座りの列ごとに順次ご案内します。係員の指示があるまでお席にてお待ちください。

埼玉から響く音楽のエール

しもおさかんいち

# 下総皖一音楽賞 受賞者コンサート 2021

令和3年 9月11日(土)

開場 14:00 開演 15:00 (18:00終演予定)  
会場 埼玉会館大ホール  
埼玉県文化振興基金活用事業



【主催】埼玉県 埼玉県芸術文化振興財団  
【共催】(公財)埼玉県芸術文化振興基金  
【後援】埼玉県教育委員会



埼玉県立浦和第一女子高等学校の協賛を感謝いたします。